

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 東伊豆町における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上		
計画の期間	平成22年度	～	平成27年度
計画の目標	交付対象	東伊豆町	

住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安心できる住まい・まちづくりを実現する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・東伊豆町における住宅の耐震化率を上げる

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)
------------------	-----------------	-----------------

① 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。
 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)

63.4%		90%
-------	--	-----

②

--	--	--

全体事業費	合計 (A+B+C)	32 百万円	A	30 百万円	B	0 百万円	C	2 百万円
-------	---------------	--------	---	--------	---	-------	---	-------

効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.3%
---------------------------	------

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1-A1-1	住宅	一般	東伊豆町	直/間	町/個人	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等	東伊豆町							30	△	
合計																30		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
合計																		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)								
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	住宅	一般	東伊豆町	間接	個人	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強	東伊豆町							2	△	
合計													2					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
1-C-1	旧基準で建てられた木造住宅の耐震補強を実施する。																	
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																		
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業																		
(別添「事業実施計画」参照)																		

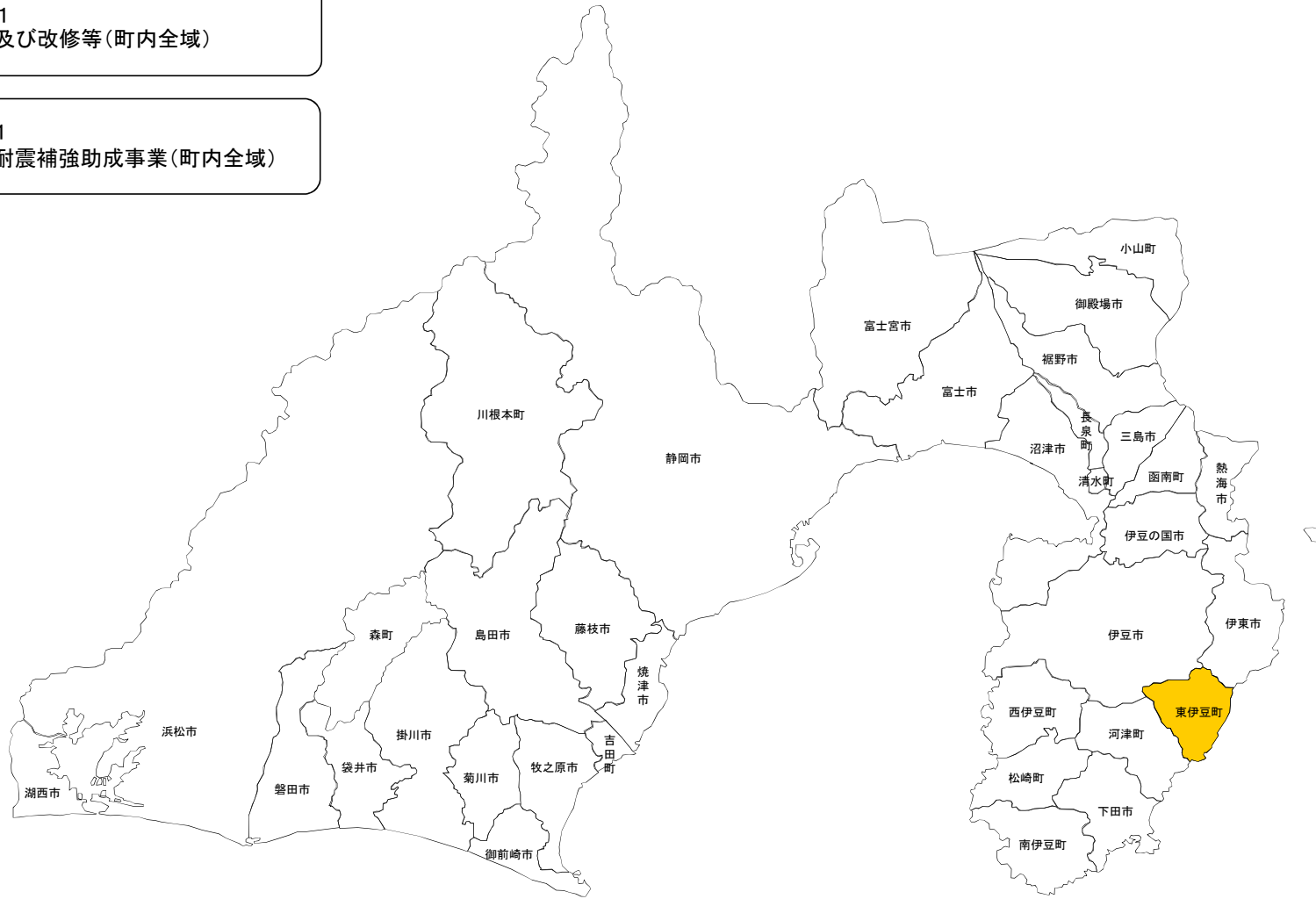
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																		
<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p> <p>(指標①) 計画期間内において、わが家の専門家診断事業(木造住宅無料耐震診断)95件、木造住宅補強計画策定事業4件、木造住宅耐震補強助成事業3件、建築物耐震診断事業1件が実施されることにより住宅・建築物の耐震化がなされ、安全で安心できる住まい・まちづくりが促進された。</p> <p>(指標②)</p>																		
II 定量的指標の達成状況		指標①東伊豆町における住宅の耐震化率を上げる	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	木造住宅の耐震補強戸数については年々増加しているが、長引く不況等の影響で建替え戸数が目標設定時から大幅に減少したため、住宅の耐震化率の伸びが鈍化した。												
			最終実績値	(H26末) 65.1%														
		指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因													
			最終実績値															
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		住宅の耐震化の進捗により、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。																
3. 特記事項(今後の方針等)																		
次期整備計画により、人命を守ることを最も重視し「安全な住まい」の確保に向けて、依然として耐震化されていない住宅の耐震化を図る。																		


(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	1 東伊豆町における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上	交付対象	東伊豆町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成27年度 (6年間)		

1-A1-1
耐震診断及び改修等(町内全域)

1-C1-1
木造住宅耐震補強助成事業(町内全域)



 : 東伊豆町